

今年も宮中では華やかな行事が催されるようです。宮中の着物という着物を並べ、選んだ物を重ねて着飾り、一番綺麗な十二単を着ることのできた者には、褒美が与えられます。最も美しく、雅な十二単を纏うことができるのは、一体誰なのでしょう。



②役カード…9枚 ●9種類 各1枚ずつ
最後のページに一覧あり

1	2	1	2	3
若菜	5~9を 昇順か降順で並べる	役の名前	役の達成条件	得点するための 枚数条件
わかな	3 3 4 5	達成条件を満たして カードを何枚並べるか	達成条件を満たして カードを何枚並べるか	
上	4 3 5 8	4	上の条件を達成したときに得点できる点数 上の役カードの場合 3枚並べれば3点 4枚なら5点 5枚なら8点	

③イラストカード…4枚 ●4種類各1枚

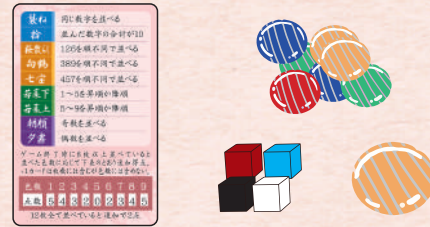


④得点用カード…4枚



左図のように組み合わせ
点数をカウントできる
ようにしてください

⑤概要カード…4枚



- ⑥おはじき…20個
- ⑦マーカー…8個(4色×2個)
- ⑧スタートプレイヤーマーカー
(大きなおはじき)…1個
- ⑨説明書(今読んでいる物です!)…1部

ゲームの概要

手番では共通の場からカードを1枚獲得し手札の中で役が完成したら自分の場に並べ、得点します。ただし、手札の順番を入れ替えることはできず、さらに役の達成は早いもの勝ちです。4人プレイなら4ラウンド、3人プレイなら3ラウンドを通して全員が12回の手番を行うとゲームは終了します。最終得点計算の結果、一番得点が多かったプレイヤーの勝利です。

ゲームの流れ

スタートプレイヤーから時計回りの順番で自分の手番を行います。スタートプレイヤーは最近お着物を着た人です。もしくはジャンケンなど適当な方法で決めてください。

ゲームの準備

【次ページに図がありますので、お手数ですが併せてご確認ください】

- ①得点用カードを1から20まで数字が繋がるように並べます。これを得点トラックと呼びます。
- ②役カードをプレイヤーが見やすいように並べます。同色の枠の役は横に並べ、概要カードと同じ順番に並べると良いでしょう。



③4人プレイの場合は全てのカードを裏向きにしてよく混ぜ、山札を作ります。

3人プレイの場合は1~9のカードをそれぞれ1枚ずつ、+1のカードを2枚ゲームから取り除き、箱に戻してから山札を作ってください。

4人プレイの場合、山札からカードを表にしてカードを4枚重ねた列を4つ並べます。

どんなカードが並んでいるのか分かるように少しずつずらして並べてください。

3人プレイの場合は、カードを5枚重ねた列を3つ並べます。これを「共通の場」と呼びます。



4人プレイの例

④各プレイヤーは概要カード1枚と、好きなイラストカード1枚と好きな色のマーカー2個を取ります。概要カードとイラストカードとマーカーのうち1つは自分の前に、もう1つのマーカーは得点トラックの近くに置いてください。自分の前のマーカーは、自分が得点トラックで何色のマーカーを使用しているのかわかりやすくするための目印です。イラストカードより手前を「自分の場」と呼びます。



各プレイヤーの手前に置く
マーカーの1つは
得点トラックの近くへ

⑤おはじきは各プレイヤーの手の届く所にまとめて置いてください。



⑥スタートプレイヤーは、スタートプレイヤーマーカーを自分の前に置いてください。残りの物は今回のゲームには使いませんので箱に戻してください(3人プレイの場合のみ)。



次ページの図は
4人プレイ時の準備が完了したところでは



ゲームデザイン……折口日向 (@o_u_an)
アートワーク……ナカヤマ皐月 (@N_32tree)

内容物

- ①着物カード(以降「カード」と表記) ……52枚
- 1~9 ……各5枚 ●+1カード…7枚



着物カード1~9



+1カード



カード裏面

自分の場



④各プレイヤーが自分の前に置く物



- ・イラストカード
- ・概要カード
- ・マーカー1個

自分の場

後述する「役を達成したカード」は、このイラストカードの下の「自分の場」に左から右に並べます。

①得点トラック



残りのカードは山札として、裏向きにして積んでおきます。

②役カード



③共通の場



自分の場



⑤おはじきは各プレイヤーが取りやすい位置に置いてください。



⑥スタートプレイヤーマーカー



自分の場

手番の流れ

1 カードの獲得(必須) 2 役の達成(任意)

上記の手順が終わると、次のプレイヤーに手番が移ります。

手番の詳細

1 カードの獲得(必須)

手番では必ず、共通の場の各列の1番上のカード(上図の場合であれば9、3、+1、6)のどれかを獲得し手札の1番手前に加えなければいけません。

【重要】手札の順番を変えてはいけません。新しく獲得したカードは必ず手札の1番手前に加え。また、手札は非公開です。他のプレイヤーから内容がわからないように持ってください。

ただし、+1カードは獲得しても手札に加えず、後述する役の達成時と同じようにそのまま自分の場の1番右にくるように並べて即座に1点を獲得し、その分だけ得点トラックの自分のマーカーを進めます。なお、+1カードを獲得した手番は役を達成できません。

2 役の達成(任意)

カードを獲得した後で達成可能な役がある場合は、手札から必要なカードを出して自分の場に並べて役を達成し、得点トラックの自分のマーカーを進めて得点することができます。ただし、それには下記の条件を満たしていなければいけません。

●手札は「手前から」出さなければいけません。

手札の途中や奥の方だけを抜き出すことはできません(必然的に、今回の手番で獲得したカードも使うことになります)。

●手札の中での順番を崩さずに、自分の場に左から右に並べます。

少しずつ重ねて並べ、手札の中で手前にあったカードがそのまま自分の場でも手前(右)にくるように並べてください(イラストカードにかかるように並べると、十二単を徐々に纏うように見えて、より雰囲気が増すでしょう!)

得点したあとで、今回達成した役カードの枚数のマスに、おはじきを置きます。

おはじきが置かれたマスは、もう達成することはできません(おはじきが置かれている役でも、他のマスが空いていれば、以降の手番で達成することは可能です)。

なお、プレイ中におはじきが足りなくなることがありましたら、何か他のもので代用してください。

※1度の手番で達成できる役は1つだけです。複数達成できる場合は、1つ選んで達成してください（大抵の場合、1番得点が高い役を選ぶでしょう）。

●2回目以降に役を達成するときには、自分の場の1番右にあるカード（最後に並べたカード）を次の役にも組み込むことができます（組み込まなくてもかまいません）。

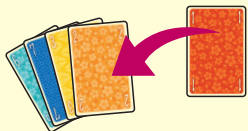
- ・組み込むことができるのは、1番右のカード（最後に並べたカード）のみです。
- ・+1カードが1番右にある場合、+1カードを次の役に組み込むことはできません。

例

①Aさんは手札に6.7.3.2（2が1番手前です）のカードを持っています。

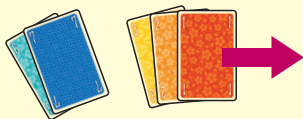


②この手番で1のカードを獲得したので、1を手札の1番手前に加えて手札の順番は6.7.3.2.1となります。



③そして手札の3.2.1をそのままの順番で自分の場に出し「若菜下」の3枚を達成し、3点を獲得しました。

※「若菜下」（1～5を昇順か降順に並べる役）



④自分の場には、左から右に3.2.1と並べます（カードは少しずつ重ねて並べ、手札の中で1番手前にあった1が、自分の場でも1番手前（右）にくるようにします）。



⑤手札には6.7が残ります。

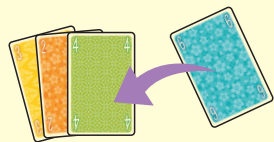


※今回の例で、手札の中ほどから7と3だけを抜き出して「拾」（合計が10になるように並べる役）を達成するといったようなことはできません。

例

Bさんは自分の場に8.7.6と並べています（6が1番右です）。

手札には3.2.4（4が1番手前です）と持っており、今回の手番で6を獲得しました。自分の場の1番右にある6と、手札の2.4.6を使って、「夕霧」（偶数を並べる役）の4枚（6.2.4.6）を達成することができます。Bさんは2.4.6を自分の場に並べ、4点を獲得します（今回Bさんは、自分の場の6と、この手番に獲得した手札の6を使って「襲ね」（同じ数字を並べる役）の2枚の方を達成することもできましたが、点数の高い「夕霧」の4枚を達成することにしました）。



手札（6を獲得しました）



現在の自分の場



役達成後の自分の場



残りの手札

次ラウンドの準備

各プレイヤーが順番に手番を行っていき、4人プレイなら共通の場のカード枚数が残り4枚になったら（各プレイヤーが3回の手番を終えたら）、ラウンドが終了します。

3人プレイなら共通の場のカード枚数が残り3枚になったら（各プレイヤーが4回の手番を終えたら）ラウンドが終了します。

ラウンド終了時には、共通の場に残っているカードを全て捨て札にし、表向きでひとまとめにして山札の近くに置いておきます（捨て札の内容を確認してはいけません）。そして、山札からゲーム開始時の準備と同じように共通の場にカードを並べます。その後スタートプレイヤーマーカーを左隣のプレイヤーに渡し、そのプレイヤーから次ラウンドの手番を開始します。

最終ラウンド（4人プレイなら4ラウンド目、3人プレイなら3ラウンド目）の準備をするときは、山札だけでは足りないのを、捨て札も混ぜてよく切ってから並べてください。3人プレイの場合は、最終ラウンドの準備後にカードが2枚余りますが、それは捨て札にしてください。

※各ラウンドの区切りは、共通の場に残ったカードの枚数が、プレイヤーの人数と同じ枚数になったら、と覚えておく判断しやすいです。

ゲームの終了条件

4人プレイならば4ラウンド、3人プレイならば3ラウンドが終了し、全プレイヤーが12回の手番を終えたら、ゲーム終了です。

最終得点計算

ゲームが終了したら、最終得点計算を行います。最終得点計算では、自分の場に8枚以上のカードを並べることのできたプレイヤーは、ゲーム中に獲得した得点に加え以下の得点が追加されます。

・自分の場に並べたカードの色数に応じた得点（下表参照）

色数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
点数	5	4	3	2	0	2	3	4	5

得点した分だけ、得点トラックの自分のマーカーを進めます。なお、+1カードは枚数に含みますが、色数には含みません。

・12枚全てのカードを並べたプレイヤー（ゲーム終了時に手札を持っていなかったプレイヤー）は十二単を纏うことができたボーナスとして、さらに2点を獲得します。

例

ゲーム終了時、Cさんは下図のようにカードを並べています。



8枚以上のカードを並べているので、追加得点があります。並べている色数は8色なので、4点を追加で獲得します(+1カードは色数には含めません!)。もしも手札に残った3のカードも自分の場に並べることができていたら、9色全てを並べているので5点、12枚全てを並べることができたので、さらに追加で2点を獲得することができました。

勝者の決定

最終得点計算終了後、1番得点が多かったプレイヤーが勝者となります。複数のプレイヤーが該当する場合は、自分の場にカードを並べた枚数の多いプレイヤーの勝利です。それも同じなら、該当するプレイヤー同士で勝利を分かち合います。

ヴァリエントルール

お好みに合わせて取り入れてください。1つ目のルールを採用すると役の達成がより厳しくなって難易度が上がり、2つ目のルールを採用すると、役が達成しやすくなって難易度が下がります。

- 3人プレイの時に、ゲームの準備が終わったあと、最初の手番の前に「襲ね」の2枚のマスに1つ、「拾」の2枚のマスにも1つ、おはじきを乗せる。
- +1カードを獲得した手番でも、役を達成できるものとします

役カード一覧・補足

かさ
襲ね

同じ数字を並べる(22や999など)

じゅう
拾

カードの数字の合計が10になるように並べる(46や172など)

さくらら
桜散らし

1.2.6を順不同で並べる。(126や261など)
並べ方の順番は問いませんが、611など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

むかいづる
向鶴

3.8.9を順不同で並べる。(389や938など)
並べ方の順番は問いませんが、989など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

しほう
七宝

4.5.7を順不同で並べる。(457や574など)
並べ方の順番は問いませんが、455など、どれか1つでも欠けているような物は不可です。

わかなげ
若菜下

1~5を昇順か降順で並べる。(124や5321など)
間が空いてもかまいません。ただし、2334や422など、同じ数字を使うことはできません。

わかなじょう
若菜上

5~9を昇順か降順で並べる。(985や5679など)
間が空いてもかまいません。ただし、699や87755など、同じ数字を使うことはできません。

あさがお
朝顔

奇数を並べる
奇数のカードであれば、13や751173など、同じ数字を複数回使用したり、昇順と降順が混ざってもかまいません。

ゆうぎり
夕霧

偶数を並べる
偶数のカードであれば、648や84628など、同じ数字を複数回使用したり、昇順と降順が混ざってもかまいません。

同じ枚数のマスが2ヶ所ある役の場合(「襲ね」の2枚と3枚、「拾」の2枚、桜散らし、向鶴、七宝)は、2回達成することができます。誰かが達成した後でも、もう一度達成することが可能です。橙色の枠の3種類の役(桜散らし、向鶴、七宝)の場合、先に達成したプレイヤーが4点を獲得します。後から達成したプレイヤーは3点を獲得します。

製作・発行 桜遊庵 HP: 『卓上遊戯創作処 桜遊庵』(<http://ouyuuan.cloud-line.com/>)
アートワーク: ナカヤマ 皐月(Twitter: @N_32tree)
お問い合わせ等は ouyuuan@gmail.com までお願いいたします。
スペシャルサンクス: テストプレイに協力してくださった皆様 そしてこれを読んでくださっている皆様

※小さなお子様(特に3歳未満)には絶対に与えないでください。
このゲームには小さな部品が含まれています。お子様が誤飲しないようご注意ください。
※このゲームの内容やイラストその他の無断転載はご遠慮ください。

2014/5/18 初版発行
2014/6/20 再版発行
2014/7/10 三版発行
2019/11/23 改訂版初版発行